

他方、途上国においては、エイズ・結核・マalariaをはじめとする感染症のコントロールが優先課題である一方で、生活習慣病が急速に広がっている現状を Double Burden (二重の負荷) と捉えている。

表 (3) 中・低所得国における疾病負荷 (Burden of Disease) と ODA に占めるその割合

疾病分類	DALYs (障害調整余 命年数) (2001年)	疾病 負荷の 割合	ODA 中に占める保健 医療分野 (※) の割合 ※人口・家族計画問題 を含む		障害調整余命年数 1 年当たりに対する ODA 配分額 (2002年) (ドル)	
			直接投資	間接投資 含む	直接投資	間接投資 含む
感染症全体	552,639,000	39.8	54.9	72.9	39.56	48.24
非感染症全体	678,842,000	48.9	0.0	22.1	0.0	2.18
けが等	155,945,000	11.2	0.0	5.1	0.0	2.17
疾病負荷合計	1,387,426,000	100.0	54.9	100.0	—	—

(出典) OECD DEVELOPMENT CENTRE Working Paper No.244 P.14 及び 17 抜粋

*Burden of Disease とは…

現在の健康状態と、病気や不自由なしに歳を経る理想の健康状態とのギャップ

*DALYs とは…

Disability Adjusted Life of Years

寿命と生活の不自由さの両方を考慮した疾病による負担を表す指標

1DALYs = 健康な状態で過ごす 1 年を失うこと

このように、生活習慣病は、先進国・途上国の枠を超えた、これからの共通かつ最大の健康課題である。現状では地球規模課題としての捉えられ方はなされていないものの、HIV/AIDS や新型インフルエンザに続く、新たな Epidemic (疾病の流行) として位置づけることができる。